

様式第2号（第6条関係）

一般不妊治療等証明書

下記の者については、次のとおり一般不妊治療(又はその調剤)を実施し、これに係る医療(調剤)費〔本人負担額〕を徴収したことを証明します。

年 月 日

医療機関の名称及び所在地
名 称

主治医氏名

印

標榜診療科 産科・婦人科・産婦人科・泌尿器科・皮膚泌尿器科

医療機関記入欄（主治医がご記入ください。）

(フリガナ) 受診者氏名	夫	()	妻	()				
受診者生年月日		年 月 日 (歳)		年 月 日 (歳)				
貴医療機関における治療開始年月日		年 月 日						
今回の治療期間		年 月 日 ~ 年 月 日						
○当該患者が、今回行った不妊治療について該当箇所にチェックまたは記入してください。								
<input type="checkbox"/> 不妊症スクリーニング検査 <input type="checkbox"/> 精液検査 <input type="checkbox"/> 精巣生検 <input type="checkbox"/> タイミング療法 <input type="checkbox"/> 排卵誘発法 (回) <input type="checkbox"/> 手術療法 (手術方法) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 人工授精開始年月日 (年 月 日) <input type="checkbox"/> 人工授精実施回数 (回)								
・院外処方の有無 (<input type="checkbox"/> 有り・ <input type="checkbox"/> 無し)								
本人負担額の内訳	区 分	医療機関徴収分			薬局徴収分			
		保険診療分		保険診療以外分		保険診療分		保険診療以外分
		医療費総額	本人負担額 ①	本人負担額 ②	人工授精にかか るもの (再掲)	保険診療分の 本人負担額 ③	本人負担額 ④	人工授精にかか るもの (再掲)
	令和 年 3月分							
	令和 年 4月分							
	令和 年 5月分							
	令和 年 6月分							
	令和 年 7月分							
	令和 年 8月分							
	令和 年 9月分							
	令和 年 10月分							
	令和 年 11月分							
	令和 年 12月分							
	令和 年 1月分							
令和 年 2月分								
	小計							
[今回の治療にかかった金額合計] 領収金額					円 (上記本人負担額①~④の合計額となります。)			

- 注1 当該患者に関して行った不妊治療（体外受精及び顕微授精を除く。）に係るもののみ記入してください。
- 2 「人工授精にかかもの（再掲）」には、事前検査として実施する精子の細菌学検査費用及びHIVなどの感染症検査費用、採精（事前採取も含む。）費用、精子の事前採取から人工授精当日までの凍結保存料（通常、人工授精施行当日に採取するが、夫の都合により人工授精当日に来院できない場合に限る。）、精子の濃縮、精子の洗浄等に要する費用、排卵誘発のためのHCG注射、精子を子宮内に注入するために要する費用、人工授精後、感染予防のため、服用する抗生剤等が含まれます。
- 3 院外処方の有無が「有り」の場合、「薬局徴収分」へ薬局の領収書から本人負担額を転記してください。
- 4 文書料、食事療養費標準負担額、個室料等の直接的な治療費ではない費用は含めないでください。